

花壇並に花壇用草花年中行事

—(十一月)—

日比谷公園花壇掛富本光郎

苗床の霜除

今月中旬頃より次第に寒氣も加はり、降霜も激しくなつてくるので、秋蔭苗其他各種宿根草など温室、フレームに入れるもの以外は、霜除を造つてやらなければならない。

東京附近を標準とする模様花壇用のものなどは、耐寒性の強いものでも出来るだけ霜除をしてやるに越したことはない。それは霜除下で育てた方が株の大きさがよく揃ふし、又幾分開花も早く、翌春花壇植付に當つて極めて使い易いからである。

霜除の方法は簡単で寫眞の如く、苗床の南側を開け外三方はふさぐ様にするので丸太を以て柱を立て竹を渡し、葭簀、苦、筵、菰等の類で屋根形に圍つてやるのである。

牡丹芍薬の植付

牡丹と芍薬とは秋を除いては絶対に植替の出来ないものにて、これは先月書かなければならぬものであつたが今月に後れて筆者として誠に申譯ない次第である。

牡丹 牡丹はどういふものか一般に栽培困難と思はれて手を出す人が少い様であるが決してそういふものではなくない。左記の如き點に注意すれば極めて容易に培養出来るもので今植込んでおけば翌春よく開花し、二三年の後には立派な木となつてくれるものである。

植付適期 十月中旬より十一月下旬迄の間。

植付場所 成るべく強風の當らぬ、日當りのよい所、何れかと云へば朝日をよく受けて強い西日を受けぬ様な

即ち東向又は東南向の場所。

適質土 少少粘質で排水のよい肥沃な土壤、列へば砂を相當含んだ粘質壤土。

植付方法 接木後三年目位のものを

求め、株間は二尺五寸位とし、根

はなるべく折つたり傷けぬ様にし

て、砧木と穗との接目が一一二寸

埋まる位の深さに植付る。植付個

所は豫め深さ、中共一尺一一三寸

位の圓い孔を掘り底に腐つた堆肥

油粕、木灰などを入れそれに少量

の土を加へてよく搔き混ぜ、その

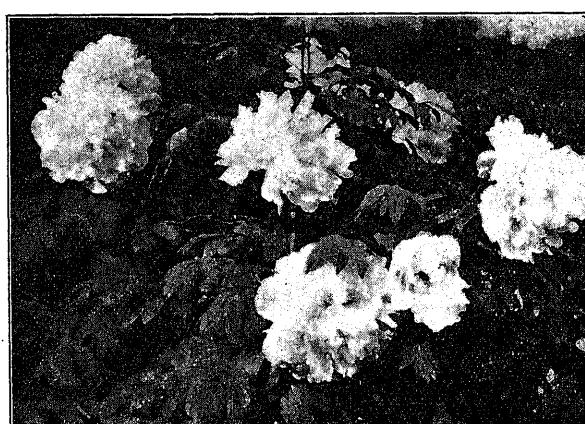
上に根を据える様にする。

霜除 植付は當初の冬は根際に

糞、厩肥の如きものを敷くとか、

或は出来るならば糞、糞等にて木

全體包んでおく。



其他の作業

一、秋植球根類の植え後れたものは今月中に必ず植込をする。

一、寒さの烈しくなるに連れ模様花壇にも、境栽花壇にも枯れたり傷んだりするものが日々多くなつてくるから、花壇を見苦しくない様、抜取、

刈込、等其種類々々により夫々適當に整理しておく。

一、牡丹の剪定整枝を中心旬頃に行はなければならない。

芍藥 牡丹よりは、すつと栽培もやさしく又手數を要さない。